



SHOW COM

Vol.7

～最新のお笑い情報をいち早くお届けするフリーペーパー『SHOW COM』（ショーコン）～

Interview 01：巨匠



●今回収録のネタ 12 本、選択の理由は？
岡野陽一（以下、岡野）：単純に好きなネタを選びました。例えば「生きるという事」というネタですが、これはウケません。

他のネタはある程度反応のいいものを入れましたが、「生きるという事」に関しては、ウケないことに自信があります（笑）。それでも、好きだから入れたかった。やっていて楽しいですから。
本田和之（以下、本田）：あとは、日頃よくやっているネタを優先したかな。個人的には「ごめんね」というネタが僕は好きです。

●芸人仲間が“どうやって思いついているのか、さっぱり見当もつかない”と言う巨匠のネタ。どうやって考えているんですか？
岡野：普通の生活じゃないからなのか。他の人たちがバイトをしている時に、僕はギャンブルをしています。例えば「お金吐くおじさん」も、人一倍“お金が欲しいな”と思っているから、生まれたネタなん

奇抜なネタの発想で芸人仲間からも一目置かれ ブレイクが予想される若手実力派コンビ、巨匠！

だと思います。あと、できるネタに制限が多いんですよ。本田は演じられる役が幅広いですが、僕はおじさんしかできないから（笑）。

本田：ネタを作るのは岡野なので、僕がにかけているのは“いかに自然に演じるか”です。違和感があると、ネタ自体が変になっちゃいますから。

●観てくれる人を“驚かせたい”という気持ち強いように思うのですが？
岡野：そうですね。“印象に残るネタがやりたい”ということはテーマにしています。何組か出演するライブでネタをやると、どれだけ面白くてもお客さんは忘れちゃうんですよ。びっくりさせると、爪痕は残ると思うので。

●読者にメッセージをお願いします！

岡野：『SHOW COM』はフリーペーパー、ということは無料ですよ。無償で人にものを与える、僕はそれだけで尊敬してしまいます。見返りを求めない無償の愛、すごいですよ。この記事を読んでいるあなた、これもまた何かのご縁だと思うので、ぜひ DVD を買ってください。そして今度お話ししましょう！



巨匠
『巨匠ベストコント集』
よいうち&かず』

ファンタジー・哀愁・笑いが溢れる、巨匠にしか作れない独特の世界観のコントが満載！

ANSB-55189
¥3,000+税
2015年5月27日発売

Interview 02：マツモトクラブ



●人間の侘び寂びから淫靡さまで詰まっているコント群ですが、ネタを作る上でのこだわりは？

○日常の中にあるものから始めたい、と

いうことです。どこかリアルでなきゃいけない、リアルのラインを超えちゃいけないと思っています。“もしかしたらこういう人、いるんじゃないか”というポイントを狙いたいんですね。よくありそうなことから入って、あり得なさそうなところで終わるのが理想型です。

●ネタ作りは、どうやっているんですか？
○実際に体験したことが、わりと多いかもしれませんね。「ストリートミュージシャン」は、駅前で歌うミュージシャンの目の前に立っていた人がいたんです。“そんな至近距離で立つかよ”と思ったことが、きっかけですね。「記念写真」も、“写真を撮ってください”とお願いされて撮ったら、カメラの設定が自撮りになっていて“あれっ、僕が映ってますよ”という経験を何度かし

『R-1ぐらんぷり2015』準優勝！ 彗星のごとく現われたピン芸人、マツモトクラブ！

ているんです。（ネタは）日常の中から見つけたいと思っていますし、そういうところから始められた時は面白いネタができるような感覚がありますね。

●今回の DVD はベスト盤とのことですが、このコントたちを選んだ理由は？

○まず単純に、自分が好きなネタを観てもらいたい、ということ。あとは、お客さんが笑ってくれたネタ、ある程度評価してもらえたネタを選びました。お気に入りには「キャッチボール」ですね。ネタをやっている最中が楽しいんですよ。

●本作の観どころを教えてください。
○好きなネタが 9 本入っていて、その中には「ストリートミュージシャンのその後」なども入っています。1 枚観終わったら後に、“ひとつの何かを観たぞ”という満

足感を持っていただけじゃないかと。

●読者にメッセージをお願いします。

○この DVD は好きな感じのいろいろやられているような感覚、自分でも理想的なものが出来上がりました。ぜひ、いろんな人に観てもらいたいです。観終わって面白かったら、“面白いよ”という人々に言ってください。



マツモトクラブ
『ヒケメガネ thank you!』

ライブ形式で収録された選りすぐりのひとりコントに加えて、ロケ映像オリジナル楽曲で贈るマツモトクラブの初 DVD となる映像作品。

ANSB-55192
¥3,000+税
2015年5月27日発売

Interview 03：平野ノラ



●ワンレン・ソバージュ、ボディコン・ファッションに身を包み、バブル時代の風潮を笑いに変えるノラさんですが、こういうネタを作ろうと思ったきっかけは？

○最初は違うネタをやっていたんですが、その頃に“なんか、古い感じがするね。バブルのかがりがある”と観ている人から言われたんです。なぜか“かおり”じゃなく“かほり”だったんです（笑）。“ああ、そういう風に見えるのか”と思ったことが、まずひとつ。あと、私はバブル時代だと小学生だったんですが、父が土地転がしをやっておりまして、ちなみに今はたこ焼き屋で、たこ焼きを転がしています（笑）。その縁もあり、“バブルってなんだろう？”という疑問から、ちょっとそういうキャラクターをやってみようと思ったんです。

●ネタを作るに当たって、当時の作品を観たりしたんですか？

○『あぶない刑事』は再放送で昔から観

OKバブリー！ おったまげ〜の、ぶっ飛び〜！ 平野ノラが日本を元気に！バブリーに!!

ていました。他には柴門ふみさんの当時の作品を読んだり、ホイチョイプロダクションの映画を観たり、80年代の曲の歌詞を参考にしたりしました。私のネタは、50%くらいは当時のものを参考にしていますが、あと 50%は“こういう風に言うのかな？”という想像なんです。 “ワンレン・ボディコン・館ひろし”とか、語呂だけで勝負してますし（笑）。

●バブル用語を 50 音順でコントに織り込み披露していくわけですが、ネタ作りは大変だったのでは？

○撮影が始まってから、“あ、こんなに大変だったんだ”とびっくりしました（笑）。でも、今回のコントはオールロケだったんですが、それはコンテンツリーグさんからの発案だったんです。“おお、そういう発

想があったか！”と思いましたね。面白く考えていただいて、嬉しかったです。

●読者にメッセージをお願いします。

○一番バブリーな女は、実はお笑い界にいたゾ！そして、みんな知っているかい？肩パットの中には、パース（元阪神タイガースの選手）のホームラン・ボールが入っているんだゾ（笑）。



平野ノラ
『平野ノラは、そこまで来ているゾ!』

「OK!バブリー!」「おったまげ〜の、ぶっ飛び〜!」など、さまざまな場面で使えるバブリーなセリフ 50 音を全編ロケ収録でご紹介!

ANSB-55190
¥3,000+税
2015年5月27日発売

神宮前四丁目視聴覚室

【第7回】香川県在住のお笑いDVDコレクター 菅家志乃歩の名盤DVDレビュー!

爆笑問題を筆頭に、長井秀和、ウエストランド、瞬間メタル、日本エレキテル連合など、個性豊かな芸人たちが所属していることで知られている芸能事務所、タイタン。そこに、ひっそりと咲いている月見草のような芸人がいる。俳優としても活動するピン芸人、宮地大介だ。おそらく、宮地はテレビでは評価されにくい芸人だろう。慎ましく、穏やかで、ゆっくり

と観客に染み込んでいく彼のコントが、バラエティの喧騒に揉み消されてしまうことは想像に難くない。だからこそ、その舞台にはテレビにない価値がある。本作には、作・演出に和田ラヂヲを迎えた、第二回単独公演の様子が収められている。宮地大介のコントは、笑いどころがわかりにくい。ザリガニの特性について熱弁する男、墓石専門店の接客風景、刑務所内で流

れているラジオ番組のDJブースなど、一風変わったシチュエーションを写実的に演じてみせるからだ。まるで、彼らにとってはごく当たり前の日常のワンシーンを、そのまま切り取っているかのよう……。だが、写実的であるがゆえに、シチュエーションそのものの可笑しみがしっかりと伝わってくる。「一人芝居」という孤独で限定的な手法だからこそ紡ぎ出せる想像力豊かなストーリーを、その舞台に感じることができる。いわゆる爆笑を求めている人には不向きだろう。多くの芸人たちが賑わうステージを期待している人にも適さないだろう。だが、宮地大介が舞台上に生み出す異様な世界には、何ものにも代えがたい面白さがある。どうぞ、お見逃しなく。

菅家志乃歩(すがやしのぶ)
1985年生まれ、香川県在住のお笑いDVDコレクター。
お客さん目線のお笑い考察でブログ「逢魔時の視聴覚室」やTwitterを中心に注目を集めている。
Blog: <http://omoshow.blog95.fc2.com/>
Twitter: @Sugaya03



宮地大介
『宮地大介 第二回単独公演「人生リハーサル」 vol.和田ラヂヲ』
タイタンライブで定評のある「ラジオDJ」コントを織り交ぜながら、宮地大介が独自の世界を繰り広げる第二回単独公演の様子を完全収録。
ANSB-55149
¥2,857 + 税 販売中

宇宙 日本 居酒屋

うしろシティ・阿諏訪泰義の書き下ろしコラム! Vol.7『四谷梅サワー』



飲み終わりに、ひとりで味気ない酒場に立ち寄って梅サワーを飲みながら、店内に流れているテレビを見ていたら、乱暴に入り口の扉

が開いた。「お前よ、俺と飲めてるわけよ、今。チャンスなわけよ。わかる?」
酔っ払ったおっさんが20代くらいの若者をふたり引き連れて、席に着くなりそう言った。「なんか質問ないわけ? 質問。……はい、遅い。お前チャンス逃した。もういい、遅い。

次、お前。」
苦手だ。飲み屋ではたまにこういう方がいて、私はこのタイプの、いわゆる自分に自信のある人が大の苦手だ。
万が一、私がラッソ的なムーブメントを起こして月に4京稼いだとしても「俺と飲めてるんだぞ?」なんて、どうやったって言えない。
そもそも体育会系のノリが嫌いだということもあるし、虐められっ子の引きこもりで自信なんてものはどこを探しても見つからなかった私にとって、こういうタイプの人はものすごく苦手だ。
さっさとグラスを干して店を出ようとし

ていたら、携帯電話が鳴った。南海キャンディーズの山里さんからメールだ。
お世話になってる大先輩に対してこんなことを思うのも失礼だが、この人は本当に自分に自信がなくて人に過剰なまでに気を遣って、ひねくれてて歪んでて大好きだ。「今、何してる?」
すぐさま返信する。「ひとりで飲んでます!」
「明日、仕事早くない?」
「昼過ぎからなのでゆっくりです!」
「ちょっと飲み足りないんだけど、予定とか大丈夫だったら一杯いかない?」
「僕でよければ、ぜひ!」
「もし何かあるなら無理しなくて全然いいんだけど」
「大丈夫です!」
「体調とか大丈夫? しんどくなかったらいいんだけど」
「行かせてください!」
「じゃ、行こうか。本当に無理しなくていいんだけど、もしもうちょっと飲める感じだっ

たらで良かったし……どうする?やめとく?」
大好きは大好きなんだけど、さすがにもうちょっと自信をもっていたきたい。さすがに。



写真:阿諏訪泰義(うしろシティ)

日本エレキテル連合の“コンテンツ電気”

日本エレキテル連合・中野聡子の唯一無二な存在感が炸裂するアートな世界! 【其の七】



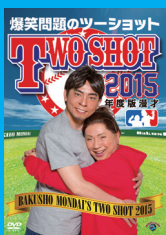
7月15日、いよいよ私たち日本エレキテル連合のネタDVD三作目、『グッバイヒューズ』が発売されます。
前作のネタDVD『腹腹電気』のリリースが昨年の10月。
今作も、セット(舞台)に関しては、かなりの我儘を言わせてもらい、スタッフの皆様

のご協力により私たちの望んだイメージを再現していただきました。いろんなキャラクターが登場しますので、ぜひ発売を楽しみにしてくださいね!
今回は、この場を借りてもうひとつ、ご報告させていただきます。
7月24日の東京・草月ホールを皮切りに、我々、日本エレキテル連合は、初の全国ツアー『日本エレキテル連合単独公演 死電区間』を開催させていただきます!

東京・大阪・名古屋・福岡・仙台・金沢・新潟の全国8カ所。
掲載させていただいたのは、その『死電区間』のチラシです。チラシのイメージも、私たちが監修しました。こちらもよろしくお願ひします。
ぜひ、会場にお越しくださいね!
『日本エレキテル連合単独公演 死電区間』スケジュール(全19公演)
○東京:7月24・25・26日@草月ホール
○大阪:9月5・6日@ABCホール
○愛知:9月18・19日@中電ホール
○岡山:9月21日@さん太ホール
○福岡:9月22・23日@スカラエスパシオ
○宮城:9月26・27日@日立システムズホール 仙台シアターホール
○石川:10月1日@金沢市アートホール
○新潟:10月2日@新潟LOTS



Pick Up Discs



爆笑問題
『2015年度版 漫才 爆笑問題のツェーショット』
2014年度も様々な事件や流行が生まれ、政治・経済も大きく動いた1年。そんな1年を爆笑問題が独自の切り口で振り返る!
ANSB-55191
¥3,800 + 税
2015年6月3日発売



ラブレターズ
『ラブレターズ単独ライブ LOVE LETTERZ MADE SIREN』
2014年12月20日に東京・萬劇場にて開催された、オール新ネタの傑作ライブ「SIREN」を完全収録!
ANSB-55188
¥3,000 + 税 販売中



アンタツチャブル柴田の
『アンタツチャブル柴田の超絶芸人』
おもしろいのに全く知られていない芸人たち
ANSB-55183
¥3,000 + 税 販売中

SHOW COM Vol.7

巨匠、マツモトクラブ、平野ノラのインタビュー完全版は、コンテンツリーグのウェブサイトで見ることができます。

Published by Contents League
<http://contentsleague.jp>
© 2015 Contents League Inc.
All Rights Reserved.

CONTENT'S LEAGUE